

窮迫した財政状況が続いています

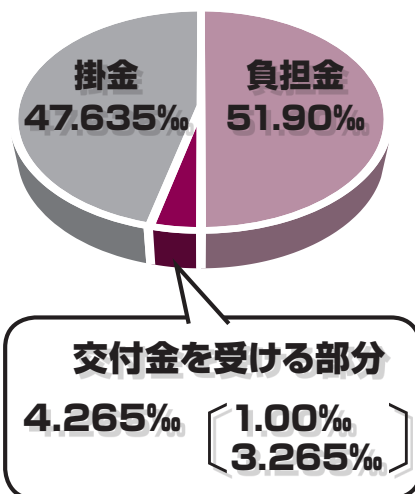
～令和2年度の掛金負担金率について～

短期給付の財政は、皆さん（組合員）からの掛金と、所属所からの負担金を財源としています。

医療機関等の受診にかかる費用である医療給付が年々増加していることに加え、高齢者医療制度への納付金の支出が増えることから、財源率（掛金負担金率）が引き上げとなり、全国市町村職員共済組合連合会の財政調整事業及び特別財政調整事業の適用（財政調整組合）となり、資金交付を受けて短期給付事業を運営する窮迫した財政状況となりました。

掛金率の上昇に伴い、皆さんの負担増加を抑えるためにも引き続き、「データヘルス計画（短期給付安定化計画）」への取り組みに対しご理解とご協力をお願いいたします。

財源率 103.80%



医療機関の受診方法等を見直して、 医療費を節約しましょう!

- 深夜や土日など、医療機関の営業時間外に受診していませんか？
(不急の時間外受診を控えることで、割増料金を節約できます。)
- ジェネリック医薬品を使用していますか？
(先発医薬品と安全性・有効成分が同等で安価なジェネリック医薬品を活用しましょう!)
- はしご受診をしていませんか？
(はしご受診をするとその都度初診料がかかり、自己負担額が増えてしまいます。)

正しく医療機関を受診して
医療費の節約にご協力をお願いします。

